

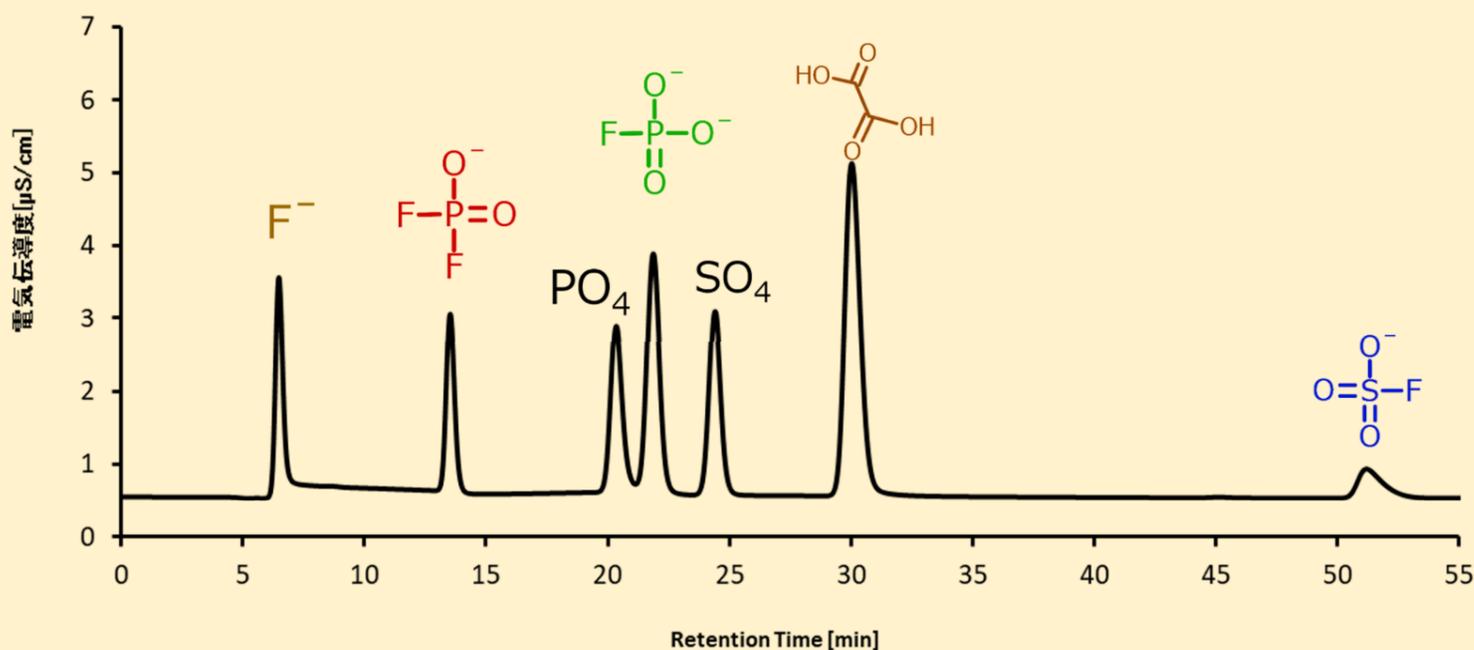
各種材料中の

イオンクロマトグラフ分析

リチウムイオン電池の電解質成分は、使用と共に分解し劣化していきます。分解生成物を知ることは劣化状況を把握するために重要です。ICPでは元素分析を行います。イオンクロマトグラフではその名の通り、イオンとなっている化学種の測定を行います。

電解液の測定例

各種イオン成分の測定が行えます。アセトニトリル・メタノールなどの非水溶媒試料の測定も可能です。分解生成物の種類は多く、各ピークが分離する条件で測定することが重要です。

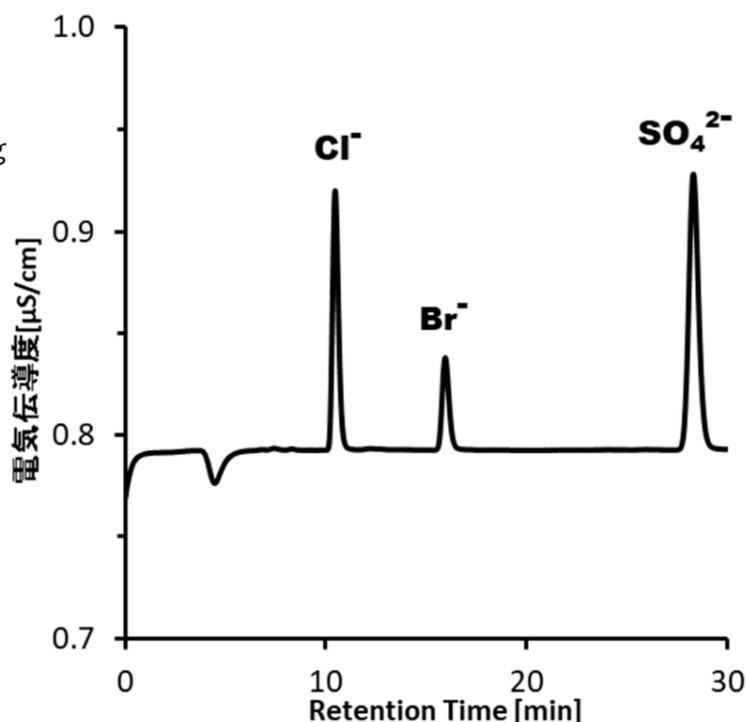


燃焼—イオンクロマトグラフ

燃焼—イオンクロマトグラフ(IC)は、固体試料をICで測定する方法の一つです。加熱によりガス化・燃焼する成分を測定します。以下は、ポリエチレン認証標準物質で行った例です。

	Cl	Br	S
認証値	810 ± 16	808 ± 19	670 ± 70
分析値	814	807	665

単位: mg/kg



その他前処理方法

水抽出、酸溶解、アルカリ融解、ポンプ法、燃焼フラスコ法 など